

橋げた	
PC 橋げた300
特殊製品	
防草ブロック304
植生用法枠ブロック306
工法	
テールアルメ工法308
柔構造プレキャスト樋門310
D・F・T ジョイント312
レールスライド工法314
FA ボックス316
Pca ウィングウォール318
生コンクリート	
東鷹栖工場320
札幌工場321
米里工場322
美幌工場323
紋別工場324
帯広工場325



PC橋げたは、あらかじめ圧縮応力を加えたコンクリート材、すなわちプレストレスト・コンクリートを使用した橋梁のことを言います。プレストレスト・コンクリート橋は、PC鋼材を使って通常の鉄筋コンクリートに比べて強い荷重に抵抗でき、これによって鉄筋コンクリートよりも長い支間長(スパン)を可能にするものです。旭ダンケのPC橋げたは、JIS(JIS A 5373)を取得している、プレテンション方式PC単純中空床版橋です。

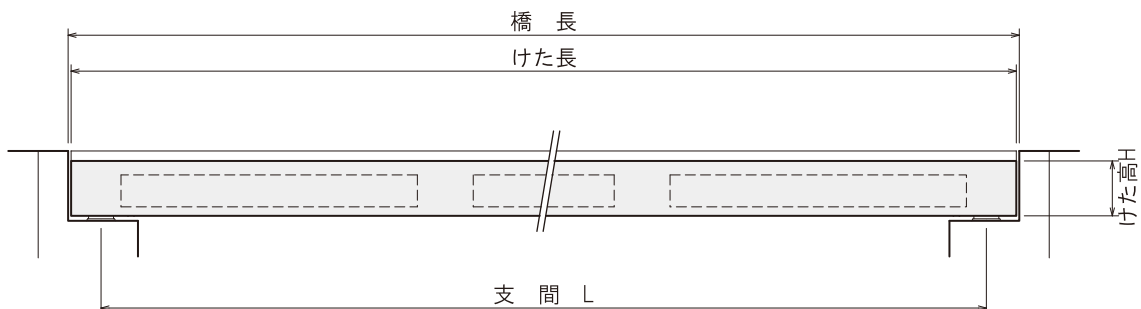
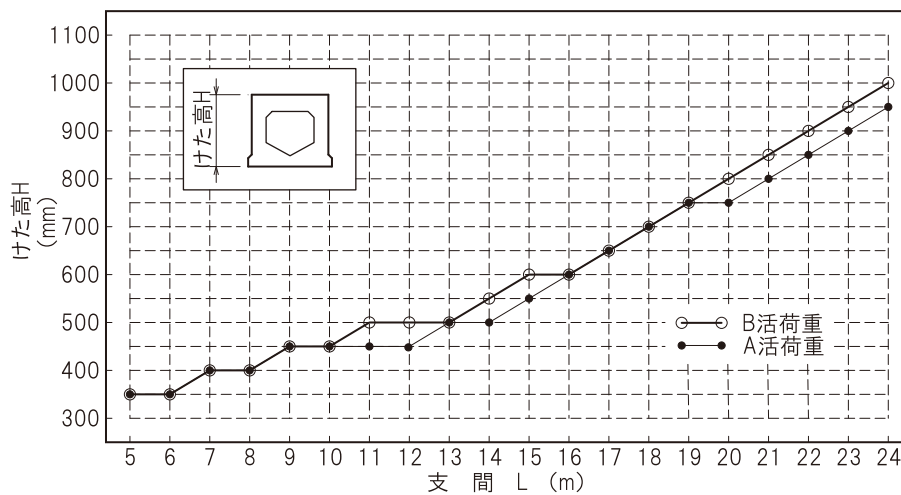


JIS A 5373

プレキャストプレストレストコンクリート製品
付属書B(規定)橋りよう類 推奨仕様B-1
道路橋用橋げた「スラブ橋げた」

適用範囲	
標準支間	5.0~24.0m
斜角	90 ~ 60°
幅員	4.0~18.0m
主げた高さ	0.35~1.00m
主げた間隔	0.77m以内
使用する支間は、標準支間よりも0.2m以内で長く1.0m以内で、短くすることができます。 長支間の橋げたの運搬に関しては、事前に該地域の道路状況などについて調査する必要があります。 塩害対策については、別途検討する必要があります。	

適用支間とけた高



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

枋・水槽
マンホール

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

階段

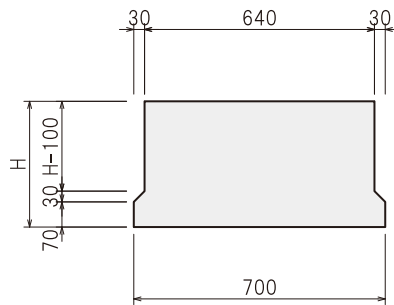
護岸用製品

畜産用製品

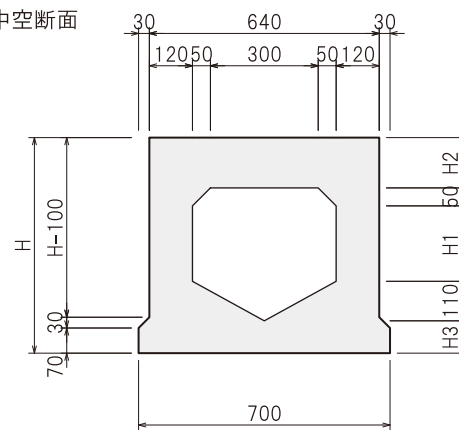
橋げた・特殊製品
工法・生コン

主げた断面形状図

充実断面



中空断面



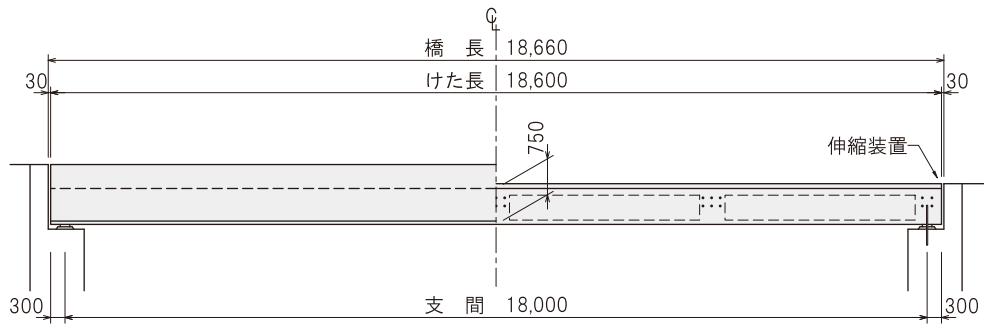
主げた諸数値表

		けた高 H(mm)	H1(mm)	H2(mm)	H3(mm)	支間(m)	けた長(m)	コンクリト(m3)	質量(tf)				
A	活	充実断面	AS05	-	-	-	5.0	5.3	1.2	2.9			
			AS06	-	-	-	6.0	6.3	1.4	3.5			
			AS07	-	-	-	7.0	7.3	1.9	4.6			
			AS08	-	-	-	8.0	8.4	2.1	5.3			
			AS09	-	-	-	9.0	9.4	2.7	6.7			
			AS10	-	-	-	10.0	10.5	3.0	7.5			
	重	中空断面	AS11	-	-	-	11.0	11.5	3.3	8.2			
			AS12	60	140	90	12.0	12.5	3.0	7.4			
			AS13	110	140	90	13.0	13.5	3.4	8.5			
			AS14	110	140	90	14.0	14.5	3.7	9.1			
			AS15	160	140	90	15.0	15.6	4.2	10.4			
			AS16	210	140	90	16.0	16.6	4.7	11.7			
			AS17	260	140	90	17.0	17.6	5.2	13.0			
			AS18	310	140	90	18.0	18.6	5.7	14.3			
			AS19	340	160	90	19.0	19.6	6.5	16.2			
			AS20	340	160	90	20.0	20.7	6.8	17.0			
			AS21	390	160	90	21.0	21.7	7.4	18.6			
			AS22	390	180	120	22.0	22.7	8.4	21.0			
			AS23	420	200	120	23.0	23.7	9.2	23.0			
			AS24	470	200	120	24.0	24.7	9.9	24.8			
			B	活	充実断面	BS05	-	-	-	5.0	5.3	1.2	2.9
						BS06	-	-	-	6.0	6.3	1.4	3.5
						BS07	-	-	-	7.0	7.3	1.9	4.6
						BS08	-	-	-	8.0	8.4	2.1	5.3
BS09	-	-				-	9.0	9.4	2.7	6.7			
BS10	-	-				-	10.0	10.5	3.0	7.5			
重	中空断面	BS11		-	-	-	11.0	11.5	3.7	9.1			
		BS12		110	140	90	12.0	12.5	3.2	7.9			
		BS13		110	140	90	13.0	13.5	3.4	8.5			
		BS14		160	140	90	14.0	14.5	3.9	9.7			
		BS15		210	140	90	15.0	15.6	4.4	11.0			
		BS16		210	140	90	16.0	16.6	4.7	11.7			
		BS17		260	140	90	17.0	17.6	5.2	13.0			
		BS18		310	140	90	18.0	18.6	5.7	14.3			
		BS19		340	160	90	19.0	19.6	6.5	16.2			
		BS20		390	160	90	20.0	20.7	7.1	17.8			
		BS21		440	160	90	21.0	21.7	7.8	19.5			
		BS22		440	180	120	22.0	22.7	8.8	21.9			
		BS23		470	200	120	23.0	23.7	9.6	23.9			
		BS24		520	200	120	24.0	24.7	10.3	25.7			

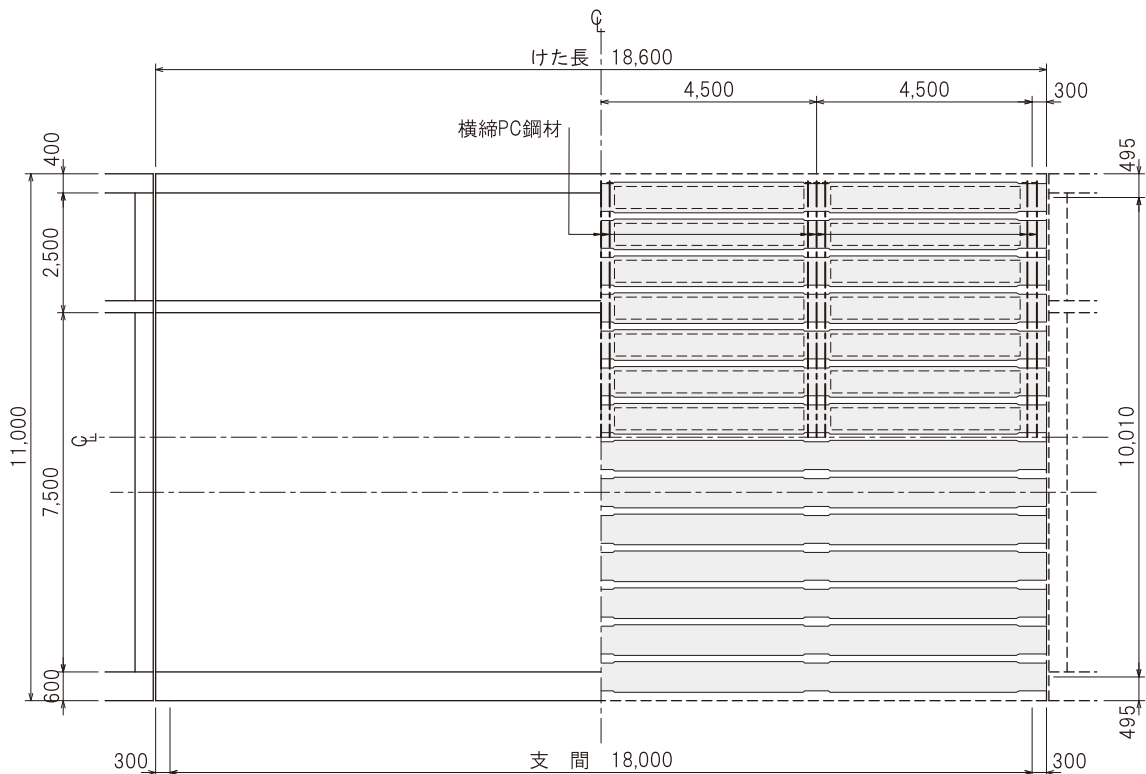
注) 表は支間中央の断面寸法を示します。支点側の頂版厚さH2は全て140mmとなります。

設計例

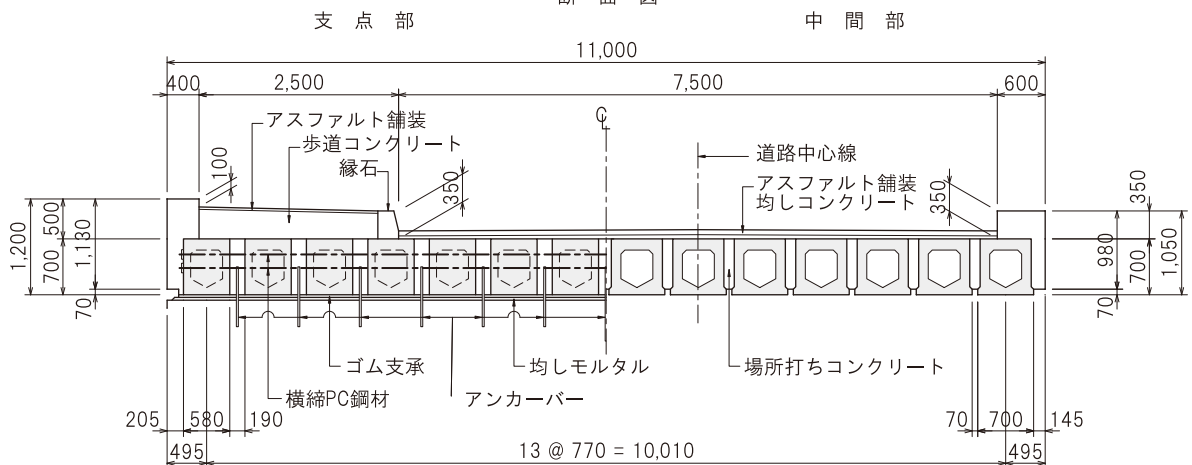
側面図



平面図



断面図



設計条件

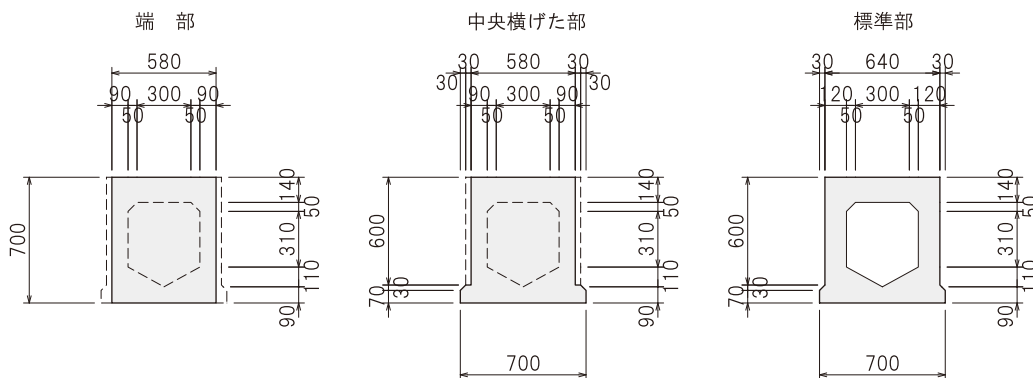
形式	プレテンション方式 PC 単純中空床版橋
橋長	18.660m
けた長	18.600m
支間	18.000m
有効幅員	2.500 + 7.500m
角度	90° 00' 00"
荷重	B活荷重

材料強度及び許容応力度

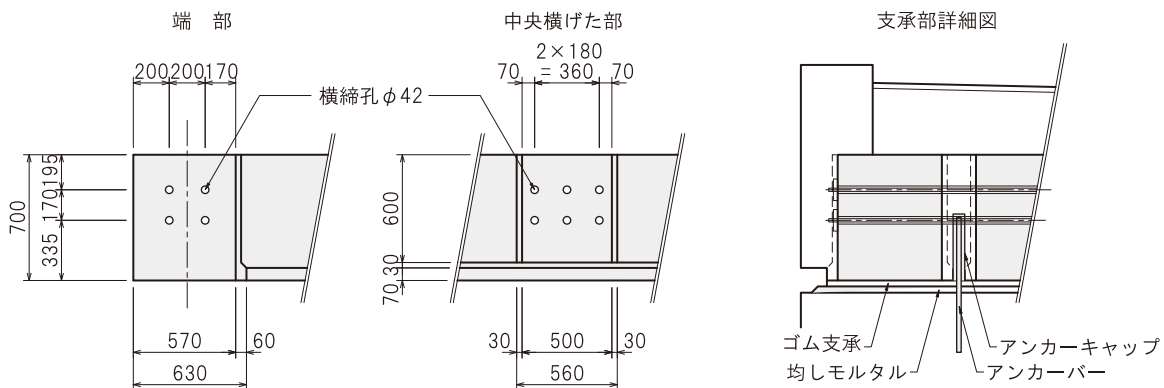
種別		単位	主げた	場所打ち
設計基準強度		N/mm ²	50.0	30.0
プレストレスを与えときの圧縮強度		N/mm ²	35.0	25.0
許容曲げ圧縮応力度	プレストレス直後	N/mm ²	20.0	14.0
	設計荷重時	N/mm ²	16.0	11.0
許容曲げ引張応力度	プレストレス直後	N/mm ²	-1.8	0.0
	静荷重時	N/mm ²	0.0	0.0
	設計荷重時	N/mm ²	-1.8	0.0
コンクリートが負担できる平均せん断応力度		N/mm ²	0.65	-
コンクリートの平均せん断応力度の最大値		N/mm ²	6.0	-
許容引張応力度	静荷重時	N/mm ²	1.2	-
	設計荷重時	N/mm ²	2.3	-

種別		単位	SWPR7BL
呼び径		mm	1S15.2
引張強度		N/mm ²	1,850
降伏点応力度		N/mm ²	1,600
初期導入応力度		N/mm ²	1,350
許容引張応力度	プレストレス中	N/mm ²	1,440
	プレストレス直後	N/mm ²	1,295
	設計荷重時	N/mm ²	1,110

主げた断面図
JIS A 5373(推奨仕様 B-1) BS18



横げた詳細図



全国防草ブロック工業会加盟 NETIS:CB-050041-V (旧)



※JICE/CDIT、MLITは、コンテスト受賞ロゴとは関係なく主催者の略称を表記

防草縁石・舗装止・民地仕切石

植物の成長を妨げる特殊形状により、従来製品と比べ雑草の浸食を抑制するとともに防草対策工事が不要となり、施工作業等に伴う温室効果ガス「CO₂」が削減されます。

サルでもわかる防草理論

「屈光性・屈地性」は植物ホルモンの1つ「オーキシン」によって調節されており、それは進化論で有名なダーウィン親子の研究(1880年)に由来しています。その植物の成長メカニズムを利用することで雑草は自ら成長を抑制し、やがて枯死する事が分かりました。

雑草が成長する製品側面の切欠け部(A)と(B)部によって、本来の成長方向とは逆向きとなる。また(B)部には保水効果が無く雑草は成長抑制し死滅する。

屈地性
植物の根は重力を感じし下方向へ成長するが上向きには伸びない。

屈光性
植物の茎や葉は上方向へ成長しようとするが下向きには伸びない。

オーキシンが成長を止めるのでザル!!

■防草ブロック施工断面図

地球と太陽の関係です

目地上部より流入
舗装材アスファルト又はコンクリート
地下の宿根から成長
防草ブロック
路盤

■防草実証試験管

- 90度の試験管より下方へ(-2.5度毎)α度の試験管で有効角を研究。
- 直径8mmの試験管でも成長が止まり、現場目地剥離後も効果を実証。

茎の成長過程

※ 芽は太陽に向かって上向きに成長しますが、途中で進路を下向きに変えられる為、成長できずに枯れてしまいます。

現状

防草ブロック工法

アスファルト等

根の成長過程

※ 根は地中に向かって下向きに成長しますが、成長途中で上向きに進路を変えられる為、成長できずに枯れてしまいます。

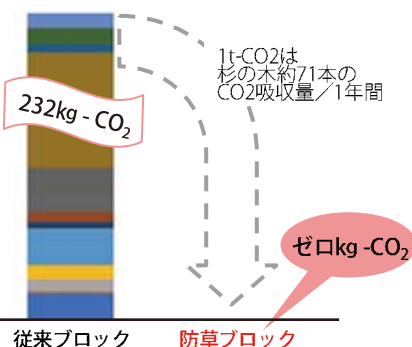
見えるぞ!! CO₂削減量 【防草ブロック 100mあたり / 232 kg -CO₂】

防草ブロック製品によるCO₂排出ガス削減量の算定は、外部専門家【㈱ウェイトボックス】によって、平成31年03月31日現在の実績より算定する。

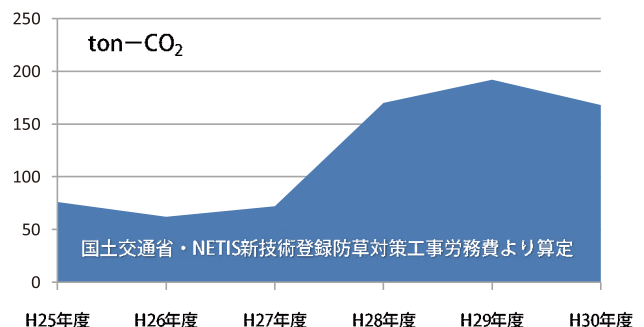
- ☑算定結果：防草ブロック活用により、新設や既設への従来防草対策工事が不要となり、施工作業等に伴う温室効果ガス「CO₂」が削減され、多くの経済効果が期待されます。
- ☑従来の防草対策・維持工事で排出されるCO₂「860 t」を削減しました。(H31.03.31日現在)
- ☑通年、防草対策は同じ現場で数年毎に繰り返し実施され、防草ブロックによって削減されるCO₂排出量は経年毎に本算出結果の「数倍」となります。

◆ 従来技術の具体的な作業内容(100m)

- 雑費
- 機械処理
- 廃材処理
- 施工
- 防草シート
- BSプライマー
- 除草剤
- 抜根工
- 養生工
- 清掃工
- 草刈り工
- カッター工

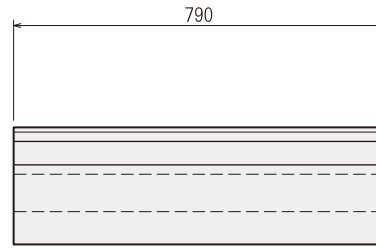
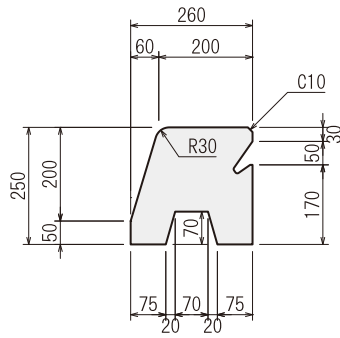


◆ jWBA防草製品によって削減されたCO₂排出量(過去6年間)



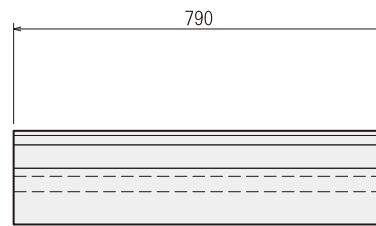
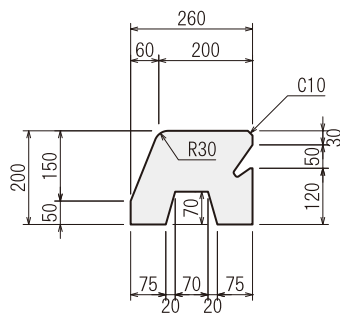
建築用製品
景観製品
カルバート
水路用製品
柵・水槽
マンホール
ハンドホール
縁石・基礎
擁壁
階段
護岸用製品
畜産用製品
橋げた・特殊製品
工法・生コン

I 型縁石 (開発局 I 型・道建設部 I 型・札幌市 1 型)



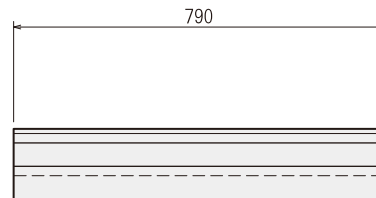
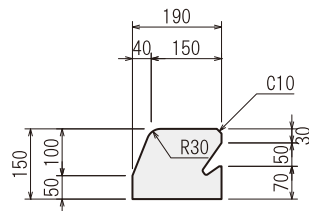
質量 : 95 kg

II 型縁石 (開発局 II 型・道建設部 II 型・札幌市 2 型)



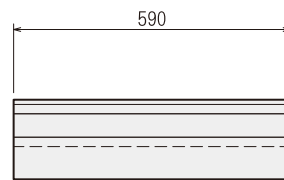
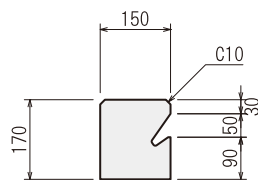
質量 : 77 kg

導水縁石 (開発局導水・道建設部導水・旭川市型導水)・札幌市 3 型縁石

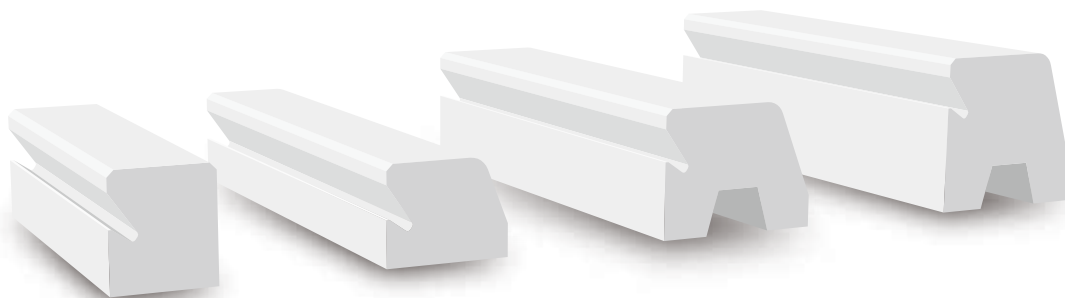


質量 : 46 kg

舗装止縁石 (開発局地先境界ブロック・道建設部舗装止縁石・札幌市民地仕切石)



質量 : 33 kg



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

マンホール
柵・水溝

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

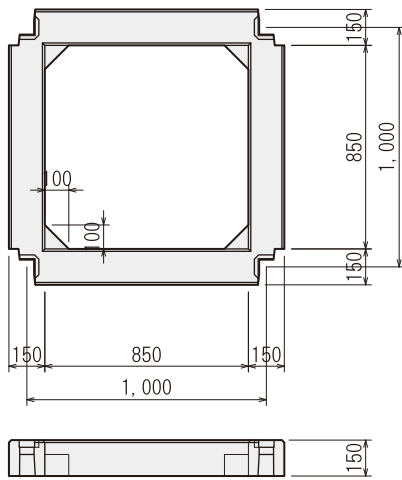
階段

護岸用製品

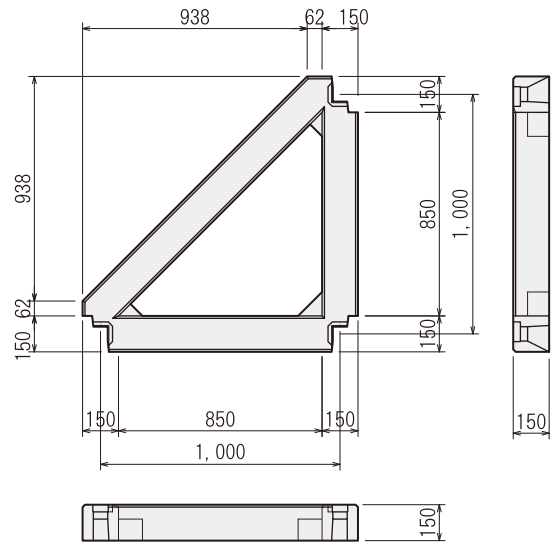
畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン

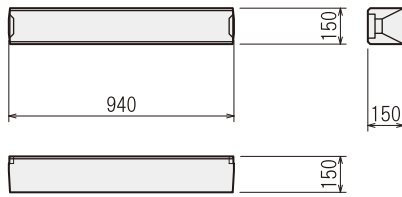
A 型



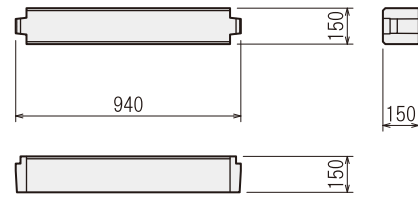
B 型左(右)



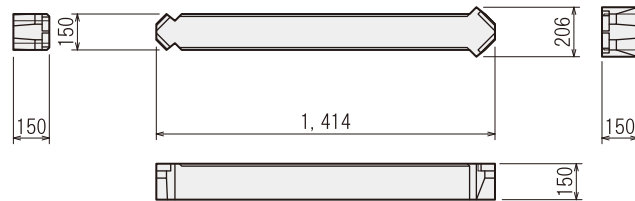
C 型



E 型



D 型



諸数値表

名称	体積(m ³)	質量(kg)
A 型	0.0838	192.7
B 型(左右)	0.0733	168.6
C 型	0.0209	48.1
D 型	0.0312	71.8
E 型	0.0199	45.8

建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

柵・水溝
マンホール

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

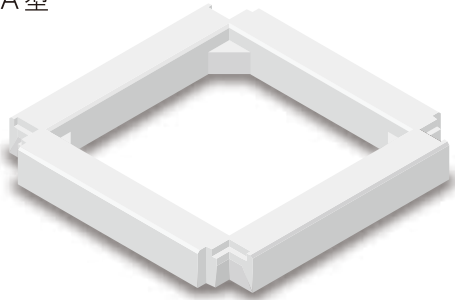
階段

護岸用製品

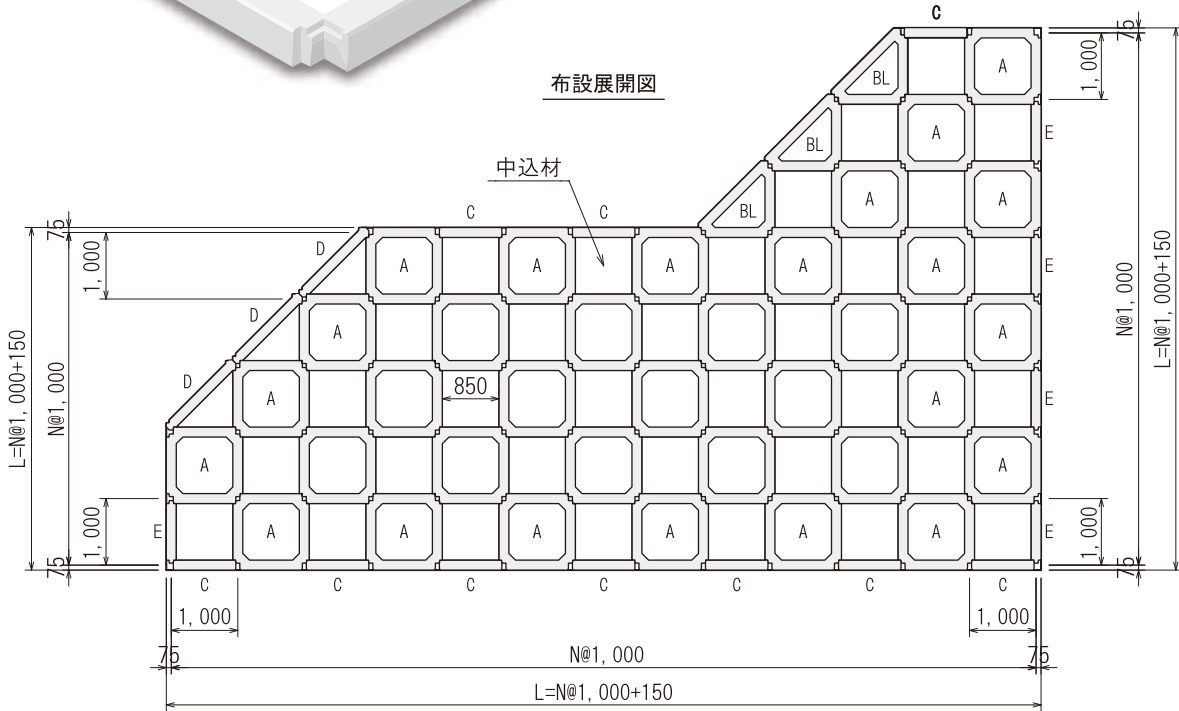
畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン

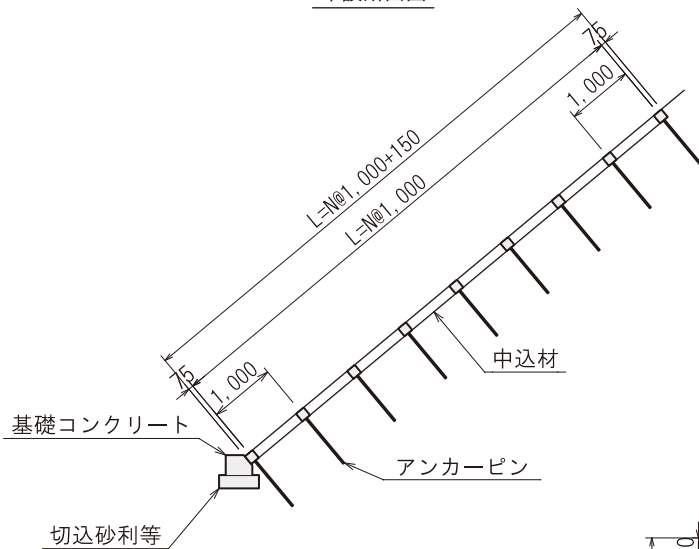
A型



布設展開図

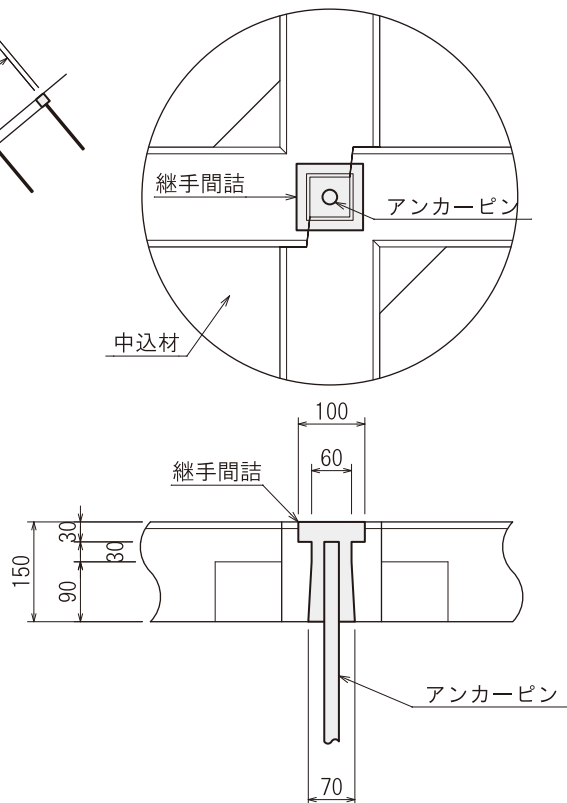


布設断面図



中込量 0.1064 m³/m²
 継手間詰量 0.0007 m³

継手詳細図



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

柵・水槽
マンホール

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

階段

護岸用製品

畜産用製品

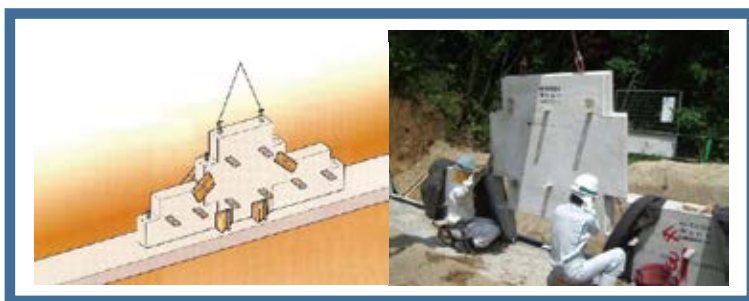
橋げた・特殊製品
工法・生コン

▷テールアルメ工法

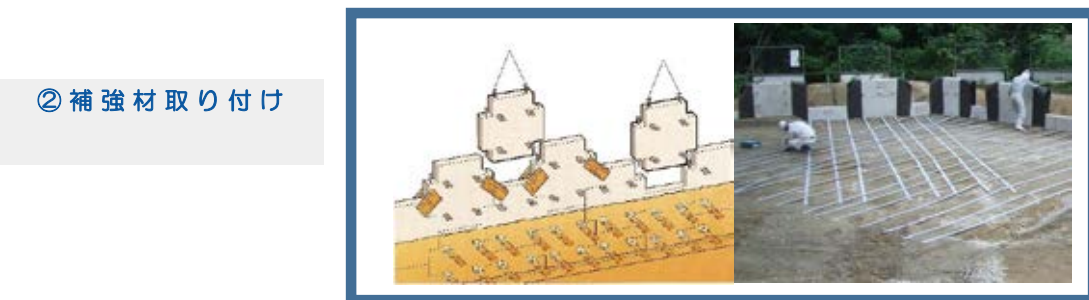
概要

140mmのコンクリートスキンとそれに取り付けられた帯状の補強材によって構成される擁壁です。補強材と土に摩擦が生じる事で、垂直な法面を形成する事が出来る為、土地の有効活用が可能です。規格化部材のプレハブ工法により特殊技術不要で工期短縮、さらに柔な構造のため、高い耐震性能を有しております。性能は阪神・淡路大震災などでの実績や物実物振動実験、それらをもとにした数値解析等により、優れた耐震性が検証されています。

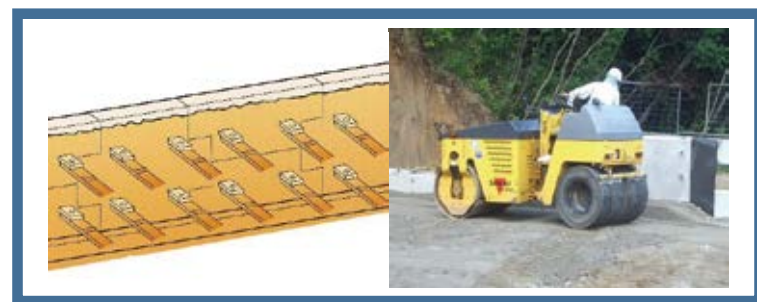
施工方法



① 壁面材取り付け



② 補強材取り付け



③ 盛土まきだし・
転圧

事例



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

マンホール
水・水槽

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

階段

護岸用製品

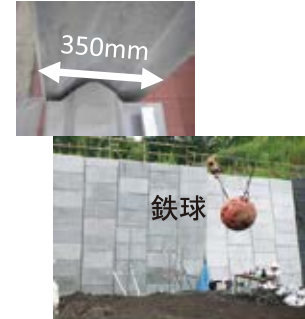
畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン

▷ アクアテールアルメ工法 (CG-100020-VR)

概要

壁面パネルは、河川用護岸で使用するブロック積控え長と同等です。厚さ350mmで護岸の衝撃に耐える構造です。また、壁面パネルの耐衝撃性として、実証津波による漂流物が衝突した場合を想定した実験を行い、安全であることを確認しました。



事例



▷ GS補強土システム (CG-130014-A)

概要

補強材にジオシンセティックスを使用することで、従来のテールアルメより経済性、以下のように施工性を向上させた新たな補強土工法です。



- ①部材点数が少なく、従来のジオシンセティックス工法の複雑な施工は不要です。
- ②現場にてロールより必要長をカットするため、現場在庫管理が不要です。
- ③現場資材仮置スペースの縮小です。

事例



●柔構造プレキャスト樋門

柔構造プレキャスト樋門は、工期の短縮、品質の向上、トータルコスト縮減など様々な可能性を持つ構造形式の樋門として期待されています。変形性能の大きな可とう継手を使用する剛接合方式とFB接合ゴム(CRゴム)を用い、より地盤変形に追随できる弾性接合方式があり、信頼性の高い樋門を築造することが可能です。

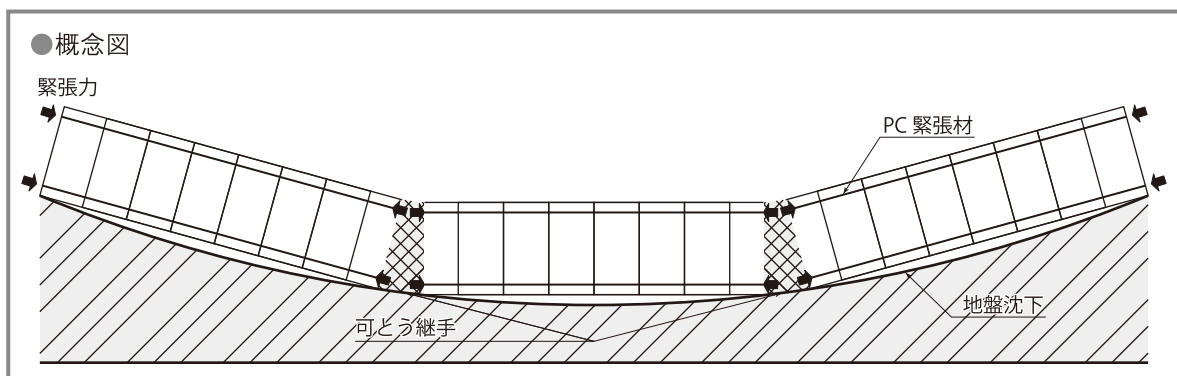
●特長

- 仮設工期の短縮により、コスト縮減が可能となります。
- 現場作業を大幅に省力化することができ、施工の効率化が図れます。
- 工場製品であるため、構造物の品質向上が図れます。
- 現場打ちボックスに比べて軽量であり、軟弱地盤では有利となります。
- 製品長 1.0~2.0m 程度を連結して樋門を構築するため、現場打ち樋門に比べて、地盤変形に追随しやすく、樋門の安定を図ることができます。

●構造形式

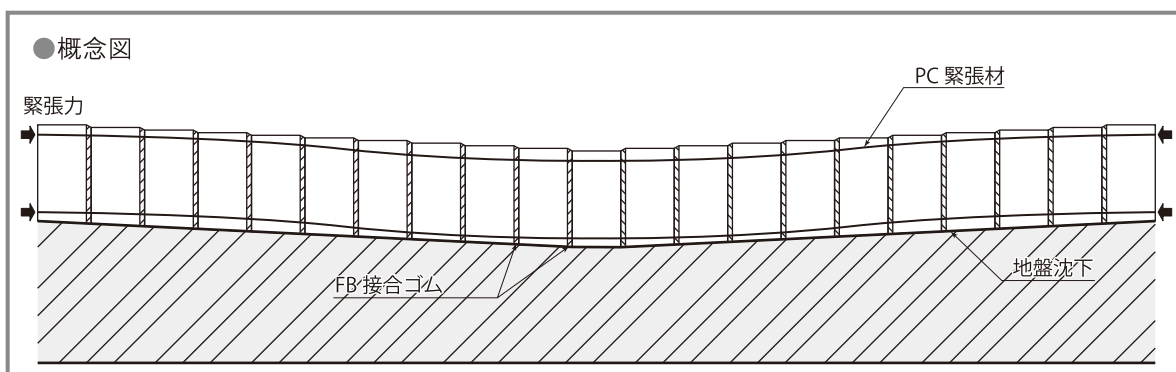
1. 剛接合方式

緊張材によって一体化された函体群を可とう継手によって接続し、可とう継手の変形性能により地盤の変形に追随させる構造です。



2. 弾性接合方式

函体 1 本ごとに FB 接合ゴム(CR ゴム)を挟み込み緊張材で一体化させ、主としてゴムのせん断変形により、地盤の変形に追随させる構造です。



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

マンホール
水溝

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

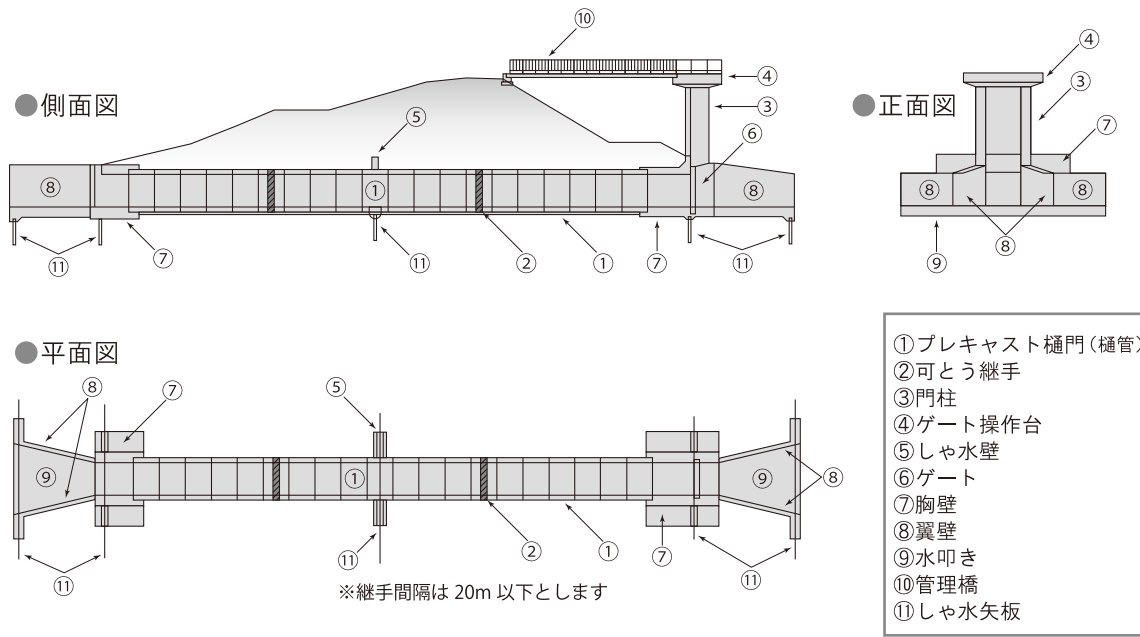
階段

護岸用製品

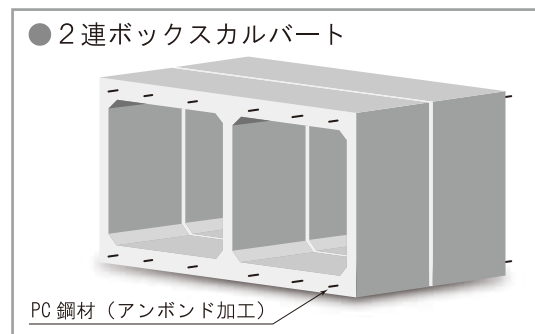
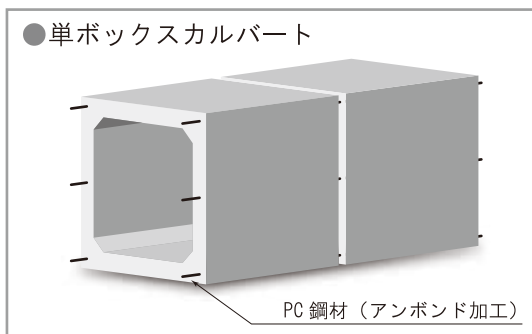
畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン

● 樋門各部の名称



● プレキャスト樋門(樋管)の種類



● 製品規格

構造による区分	規格断面数	呼び名区分	適用最大土被り
RC 函体・PC 函体	24	1,000×1,000～ 3,000×3,000	12.0m 以下

※上記規格以外の断面については、御相談下さい。

コンクリートの設計基準強度	$f'_{ck} = 40\text{N/mm}^2, 50\text{N/mm}^2$
最小部材厚	200mm
鉄筋の最小かぶり	30mm
鉄筋の種類	SD345
最小鉄筋径	D13

DFTジョイントはEPDMという合成ゴムを原材料とし、非常に高い耐候性を有しています。古い用水路の劣化し漏水している目地と置き換えることが可能で、接着剤を使用しない為、養生設備等も必要がなく限られた工期内での施工が可能です。

●D・F・Tジョイントの特長

1. 目地の取付がスピーディかつ簡単に行えます。

製品の切り欠きにゴムジョイントのくさび部分をハンマーで打ち込むだけなので、取付は非常に簡単かつスピーディです。



2. 軟弱地盤における不同沈下等による目地の段差に追従します。

軟弱地盤における不同沈下を想定した実験において、平均4～5cm、最大で7cmの段差まで目地が耐えることが確認されています。



3. 不同沈下等による布設替えの際、目地材の転用が可能です。

製品の切り欠きにくさびを打ち込むことにより、目地を取り付けているため、布設替えを行う際、一度目地材を取り外し、再利用することが可能です。



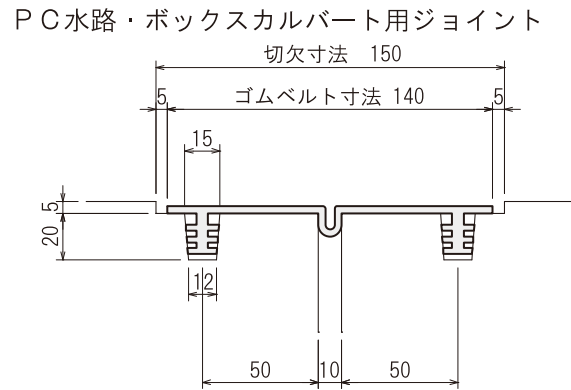
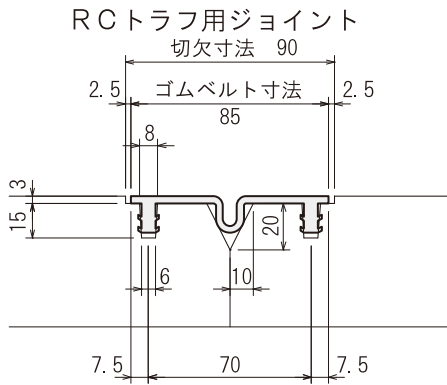
4. 耐候性に優れており、長期間の止水性能を維持することが可能です。

耐候性に非常に優れたゴム材を使用しているため、ゴム材の劣化がほとんど無く、長期間にわたる目地材の使用が可能です。（劣化度試験により確認済みです）



● D・F・Tジョイントの使用例

D・F・Tジョイントの断面形状

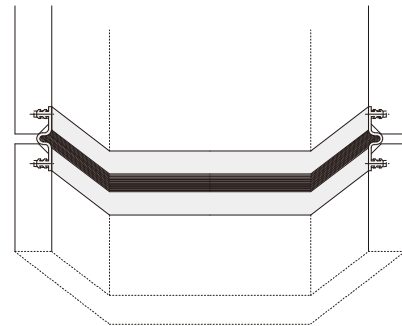


D・F・Tジョイント使用例

RCトラフ

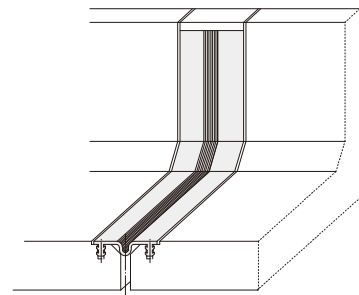
軟弱地盤の不同沈下に追従します。

また、布設替え等による目地の取付も容易に行えます。



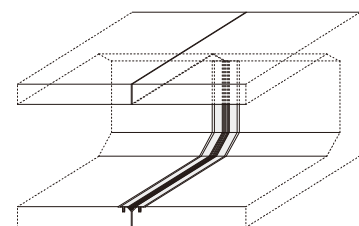
PCフリーム

ロングスパンによる変位にも充分追従し、優れた耐候性により、長期にわたり止水性能を維持します。



ボックスカルバート

柔構造ボックスとして、軟弱地盤における地盤沈下による変位に追従します。



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

柵・水槽
マンホール

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

階段

護岸用製品

畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン



「レールスライド工法」とは、通常敷設ができない場所(狭隘な場所・橋梁下横断)等でレッカー据付が不可能な場所において、基礎にレールを設置しその上に台車および函体を乗せ横移動させる工法です。

概要・特徴

1. 環境に配慮

常時重機を使用せず、レール上の台車を利用して移動させるため、ほこりや騒音・振動などの心配はありません。

2. 安全な施工

移動装置は基礎に埋め込んだ角鋼の上に、函体重量に適した台車を設置し横移動させるため、コンパクトで安全です。

3. 施工性を考慮

レールと台車との摩擦抵抗が小さいので、小型のウインチで横移動が可能であり、曲線施工は最小半径10mまで可能になります。

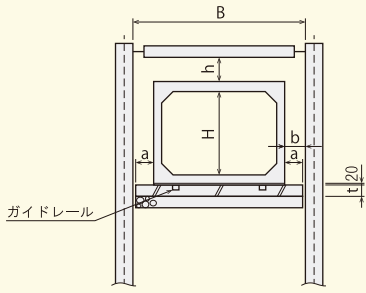
4. 現場対応が可能

使用する機械がコンパクトなため、現場条件の変化に対応できます。

5. 用途

下水道・河川水路・防火水槽・貯留槽等の函体で狭隘な場所・覆工桁下の道路横断・橋梁下の横断等に対応できます。

●施工条件

	
<p>名称・寸法位置</p>	
a 製品外面より基礎 コンクリートの張出距離	200mm以上
b 製品外面より 矢板内面までの距離	600mm以上
h 製品天端より 切梁下面までの距離	200mm以上
B 矢板最小内幅	製品外幅+1, 200mm以上
H 製品の最小内高~最大内高	特に制限なし
t 基礎コンクリートの厚さ	標準基礎寸法に順ずる
製品重量の制限	10t以下
最大施工縦断勾配	5% (ウインチの併用)



●施工手順



1.基礎鋼材設置

床付け盤よりアンカーを取り、ガイドレールを設置します。



2.基礎コンクリート打設

ガイドレール設置天端より、20mm下がり为基础コンクリート打設天端とします。



3.移動台車設置

台車の前後を連結し、作業開始位置のガイドレール上に設置します。



4.製品荷卸し

台車上に荷卸クレーンで、製品を設置します。



5.横引き移動

人力またはウインチの併用で所定位置まで移動します。



6.爪付ジャッキの使用

所定位置まで移動後、4台の爪付ジャッキで製品を持ち上げ、移動台車を取り除き、ジャッキの除荷をしていき、所定の位置に設置します。

斜角大型ボックスカルバート
FAボックス

FAボックスは、3分割されたプレキャスト部材と現場打ちコンクリートを併用した、大断面ボックスを構築する工法で、工期短縮、省人化を可能としました。

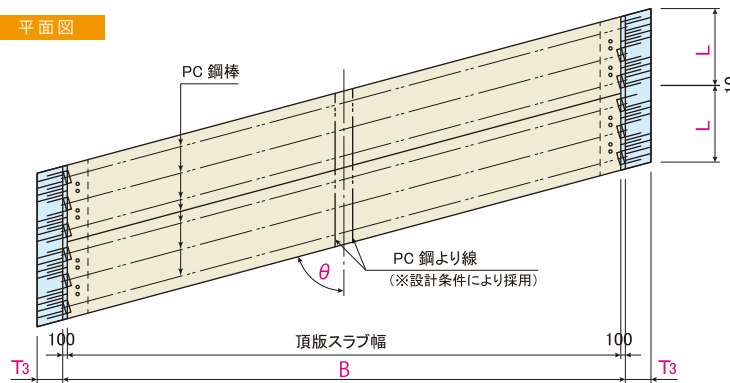
頂版、側壁を分離構造(セグメント化)とすることで、斜角を有する現場への標準対応も可能となりました。

特徴

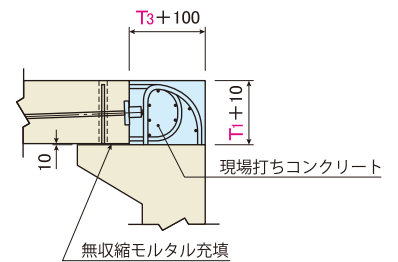
- 製品の構成がスラブ状の組み合わせであるため製造コストが安価です。
- 従来のプレキャスト部材の連結はPC鋼材を使用することが多かったが、FAボックスはループ継ぎ手を用いて一体化するため施工が容易で、工期が短縮できます。
- 部材間の接合部には止水用パッキンのほか、防水材の塗布や防水シートによる止水も併用し止水効果を高めました。
- 側壁を緊張させないため、製品同士のズレが発生しません。

構造概要

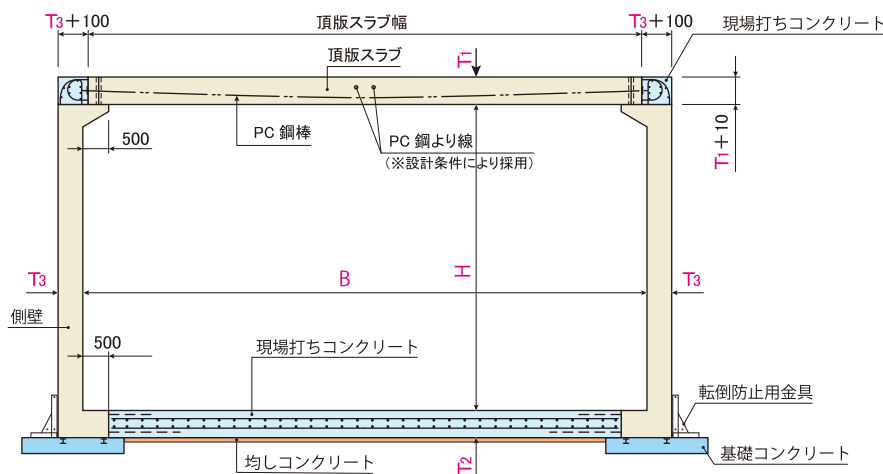
平面図



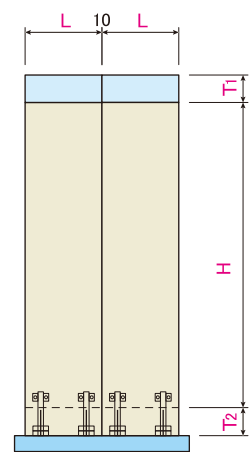
隅角部詳細図



断面図



側面図



カルバート寸法

内空幅B (mm)	5,000 ~ 12,000
内空高H (mm)	2,000 ~ 7,000
頂版厚T1 (mm)	300 ~ 750
底版厚T2 (mm)	300 ~ 1,000
側壁厚T3 (mm)	300 ~ 750
斜角θ (°)	60° ≤ θ ≤ 90°

※角度は5°ピッチで対応します。
上記規格以外に関してはお問合せください。

施工手順



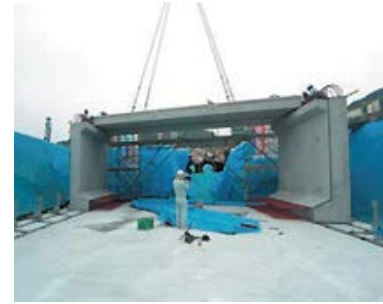
1. 基礎

施工性を高めるためレール基礎を標準とします。



2. 側壁施工

レール基礎上に設置するため正確で迅速な据付ができます。



3. 頂版スラブ架設

通常の玉掛ワイヤー4点吊りにて架設します。



4. 頂版隅角部の配筋状況

頂版隅角部の鉄筋状況（ループ鉄筋、ループ内通し鉄筋）



5. 底版部の配筋

底版部の鉄筋を組立てます。



6. 施工完了

頂版隅角部及び底版部にコンクリートを打設し完了。



FA工業会

東九州道（鹿屋～曾於）宮ノ本地区

建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

柵・水槽
マンホール

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

階段

護岸用製品

畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン



特徴

1. 技術開発の背景及び契機

近年、少子高齢化に伴い、省人省力化、工期短縮、施工性に優れた製品が求められています。そこで、これまで現場打ちコンクリートにて施工されていたウイングの工期短縮を図るため、プレキャストウイングを開発しました。

2. 技術の内容

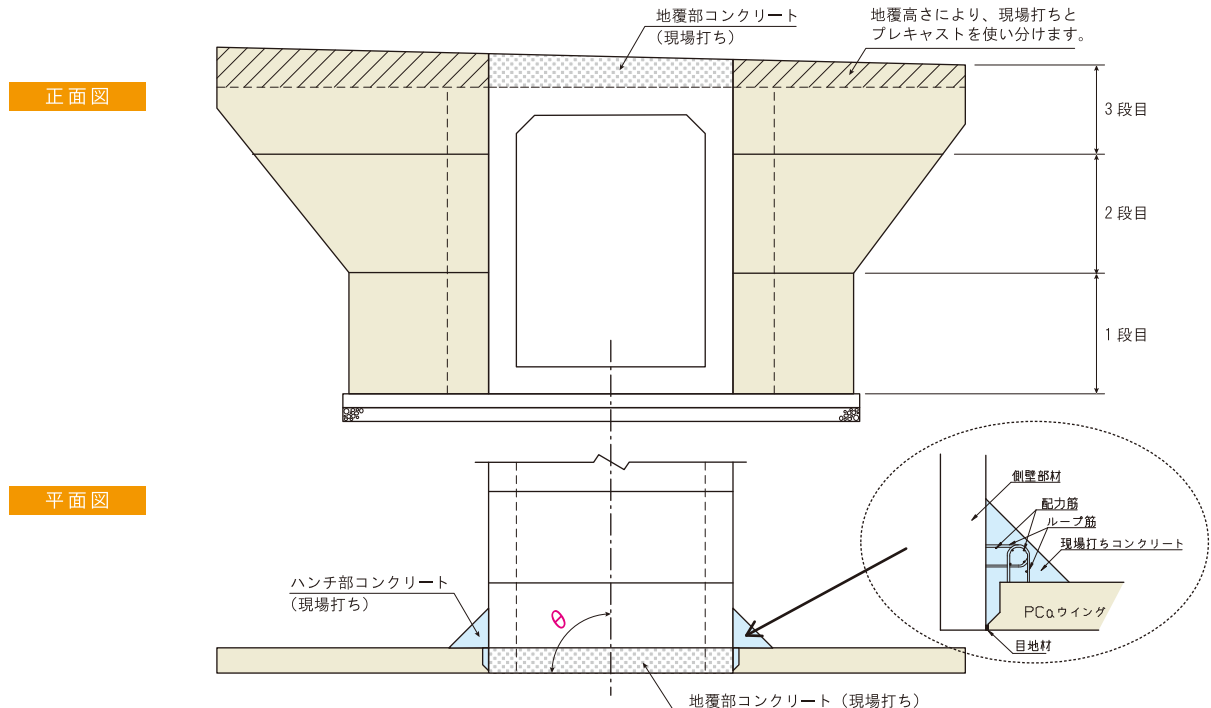
プレキャストウイングはハンチ部のループ継手構造により、プレキャストボックスカルバートと一体化する工法です。

3. 技術の効果

特殊な技術を必要としないので施工性が良く、大幅な工期短縮が図れます。

4. 技術の適用範囲

- 張出し長さ8m、全体高さ8mまで、対応できます。
 - 斜角ボックスにも対応できます。
 - 「道路土エーカルバート工指針」に準拠しています。
- 道路縦断勾配に合わせて施工できます。



ウイング部材 組立状況

[1] 1段目ブロック据付



[2] 2段目ブロック据付



[3] ブロック据付完了



プレキャストボックスカルバートとの併用により、大幅な工期短縮と高品質な施工が可能となり、トータルコストの縮減が図れます。



宮崎県都城市裏原町

建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

柵・水槽
マンホール

ハンドホール

縁石・基礎

擁壁

階段

護岸用製品

畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン

東鷹栖工場



工場名	株式会社 旭ダンケ 旭川支店 東鷹栖工場
所在地	〒071-8113 旭川市東鷹栖東3条4丁目2163番地 TEL：0166-57-8212 FAX:0166-57-9952
設立	平成2年4月
JIS認証年月日	平成20年1月29日
指定商品名	JIS A 5308レディーミクストコンクリート (普通コンクリート・舗装コンクリート)
認証番号	TC 01 07 118
工場敷地面積	133,229㎡
製造能力	120m ³ /h

バッチャープラント

プラント形式	全自動式 RAⅢ-17PⅡ-250P-7T
混練ミキサー	製作会社 日工 株式会社 形式 強制2軸ダブルスパイラルフローミキサ 容量 2.50m ³
操作盤	日工製 TRINITY (スランプコントローラー、マイクロ波自動表面水測定装置付き)
計量機	製作会社 日工 株式会社 制作方法 全自動電子制御（記憶方式） 計量方法 材料別、質量計量方式

種別	台数	最大秤量	最小秤量			
セメント	1	1,200kg	1kg	セメント上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	11.0m ³	【N】 1
水	1	600kg	0.5kg		10.0m ³	【BB】 1
					11.0m ³	【H】 1
細骨材	1	3,500kg	5kg	骨材上部貯蔵ビン	30.0m ³	細骨材 1
粗骨材	2	3,500kg	5kg		23.0m ³	細骨材 1
混和剤	1	15kg	0.01kg		25.0m ³	粗骨材 1
混和剤	1	20kg	0.02kg		17.5m ³	粗骨材 1
					10.0m ³	粗骨材 2
					22.5m ³	粗骨材 1

日本産業規格 適合性認証書・適合性認証書附属書

JIS A 5308 レディーミクストコンクリート



建築用製品
景観製品
カルバート
水路用製品
マンホール
水・水槽
ハンドホール
緑石・基礎
擁壁
階段
護岸用製品
畜産用製品
橋げた・特殊製品
工法・生コン

札幌工場



工場名	株式会社 旭ダンケ 札幌支店 札幌工場
所在地	〒061-3242 石狩市新港中央2丁目759番地 TEL：0133-64-1511 FAX:0133-64-1517
設立	昭和54年6月
JIS認証年月日	平成18年7月25日
指定商品名	JIS A 5308レディーミクストコンクリート (普通コンクリート・舗装コンクリート)
認証番号	TC 01 06 002
工場敷地面積	82,641㎡
製造能力	120m ³ /h

バッチャープラント

プラント形式	全自動式 DASH-275-1TB
混練ミキサー	製作会社 日工 株式会社 形式 強制2軸ダブルスパイラルフローミキサ 容量 2.75m ³
操作盤	日工製 it`s-B (スランプコントローラー、マイクロ波自動表面水測定装置付き)
計量機	製作会社 日工 株式会社 制作方法 全自動電子制御（記憶方式） 計量方法 材料別、質量計量方式

種別	台数	最大秤量	最小秤量
セメント	1	1,500kg	1kg
水	1	500kg	0.5kg
細骨材	1	2,500kg	5kg
粗骨材	2	3,000kg	5kg
混和剤	1	10kg	0.01kg
混和剤	1	20kg	0.02kg
混和剤	1	30kg	0.05kg
混和剤	1	300kg	0.2kg

セメント上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	11.5m ³ 【N】	1
	6.2m ³ 【BB・H】	2
混和材上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	4.0m ³ 【FAフライアッシュ】	1
骨材上部貯蔵ビン	24.0m ³	3
	16.0m ³	3

日本産業規格 適合性認証書・適合性認証書附属書

JIS A 5308 レディーミクストコンクリート



米里工場



工場名	株式会社 旭ダンケ 札幌支店 米里工場
所在地	〒003-0876 札幌市白石区東米里2118番地 TEL : 011-879-2222 FAX: 011-879-2223
設立	平成7年12月
JIS認証年月日	平成20年3月14日
指定商品名	JIS A 5308レディーミクストコンクリート (普通コンクリート)
認証番号	TC 01 07 135
大臣認定品	高強度コンクリート (Fc39~60N/mm ²)
認定番号	MCON-4086
工場敷地面積	4,937m ²
製造能力	120m ³ /h

バッチャープラント

プラント形式	全自動式 SRAIV-18FV-300P-7T
混練ミキサー	製作会社 日工 株式会社 形式 強制2軸ダブルスパイラルフローミキサー 容量 3.00m ³
操作盤	日工製 TRINITY ULTIMATE-B-300 (スランプコントローラー、マイクロ波自動表面水測定装置付き)
計量機	製作会社 日工 株式会社 制作方法 全自動電子制御 (記憶方式) 計量方法 材料別、質量計量方式

種別	台数	最大秤量	最小秤量			
セメント	1	1,200kg	1kg	セメント上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	11.5m ³ 【N】	1
水	1	600kg	0.5kg		6.2m ³ 【BB・H】	2
細骨材	1	3,500kg	5kg	混和材上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	4.0m ³ 【FAフライアッシュ】	1
粗骨材	2	3,500kg	5kg			
混和剤	2	30kg	0.05kg	骨材上部貯蔵ビン	23.0m ³	1
					13.0m ³	1
					17.0m ³	1
					27.0m ³	1
					19.0m ³	1
					20.0m ³	1
					26.0m ³	1

日本産業規格 適合性認証書・適合性認証書附属書

JIS A 5308 レディーミクストコンクリート

国土交通大臣 認定書

高強度コンクリート (Fc39~60N/mm²)



建築用製品

景観製品

カルバート

水路用製品

柵・水槽
マンホール

ハンドホール

緑石・基礎

擁壁

階段

護岸用製品

畜産用製品

橋げた・特殊製品
工法・生コン

美幌工場



工場名	株式会社 旭ダンケ 道東支店 美幌工場
所在地	〒092-0005 網走郡美幌町字野崎65番地 TEL：0152-72-3327 FAX:0152-72-4175
設立	昭和59年10月
JIS認証年月日	平成19年11月21日
指定商品名	JIS A 5308レディーミクストコンクリート（普通コンクリート）
認証番号	TC 01 07 072
工場敷地面積	48,185㎡
製造能力	70m ³ /h

バッチャープラント

プラント形式	全自動式 ML-10P-150P-7T
混練ミキサー	製作会社 日工 株式会社 形式 強制2軸スパイラルフローミキサー 容量 1.50m ³
操作盤	日工製 it`s-B REAL (スランブコントローラー、マイクロ波自動表面水測定装置付き)
計量機	製作会社 日工 株式会社 制作方法 全自動電子制御（記憶方式） 計量方法 材料別、質量計算方式

種別	台数	最大秤量	最小秤量			
セメント	1	750kg	0.5kg	セメント上部貯蔵ビン（継続自動補給方式）	6.0m ³ 5.0m ³	2 1
水	1	400kg	0.5kg			
細骨材	2	2,000kg	2kg	骨材上部貯蔵ビン	13.0m ³ 細骨材 18.0m ³ 細骨材	1 1
粗骨材	2	2,000kg	2kg		15.0m ³ 粗骨材 11.0m ³ 粗骨材	2 2
混和剤	1	8kg	0.01kg			
混和剤	1	15kg	0.01kg			

日本産業規格 適合性認証書・適合性認証書附属書

JIS A 5308 レディーミクストコンクリート



紋別工場



工場名	株式会社 旭ダンケ 道東支店 紋別工場
所在地	〒099-5175 紋別市渚滑町川向100番地 TEL：0158-23-5295 FAX：0158-23-5298
設立	昭和44年4月
JIS認証年月日	平成19年11月21日
指定商品名	JIS A 5308：レディーミクストコンクリート（普通コンクリート・舗装コンクリート）
認証番号	TC 01 07 074
工場敷地面積	43,024㎡
製造能力	150m ³ /h

バッチャープラント

プラント形式	全自動式 RAⅢ-17PⅡ-250P-7T
混練ミキサー	製作会社 石川島建機 株式会社 形式 油圧可変速二軸強制練り 容量 2.5m ³
操作盤	本郷ブランド製 NW-MR400型
計量機	製作会社 中道機械 株式会社 制作方法 全自動電子制御（記憶方式） 計量方法 材料別、質量計量方式

種別	台数	最大秤量	最小秤量			
セメント	1	1,500kg	2kg	セメント上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	10.0m ³ 【N】	1
水	1	700kg	1kg		6.0m ³ 【BB】	1
細骨材	1	3,000kg	5kg	水貯蔵ビン	5.5m ³ 【機械室】	1
粗骨材	2	3,500kg	5kg		4.5m ³ 【プラント】	1
混和剤	1	15kg	0.05kg	骨材貯蔵ビン	30.0m ³	2
混和剤	1	20kg	0.05kg		15.0m ³	3
					10.0m ³	1

日本産業規格 適合性認証書・適合性認証書附属書

JIS A 5308 レディーミクストコンクリート



建築用製品
景観製品
カルバート
水路用製品
枘・水槽
マンホール
ハンドホール
緑石・基礎
擁壁
階段
護岸用製品
畜産用製品
橋げた・特殊製品
工法・生コン

帯広工場



工場名	株式会社 旭ダンケ 道東支店 帯広工場
所在地	〒089-0535 中川群幕別町札内桜町39番地1 TEL：0155-26-8002 FAX:0155-26-8008
設立	平成28年9月
JIS認証年月日	平成29年3月13日
指定商品名	JIS A 5308：2014レディーミクストコンクリート（普通コンクリート）
認証番号	TC 01 16 002
工場敷地面積	34,468㎡
製造能力	120m ³ /h

バッチャープラント

プラント形式	全自動式 DASH-Hyper-225
混練ミキサー	製作会社 日工 株式会社 形式 強制2軸 容量 2.25m ³
操作盤	日工製 TRINITY ULTIMATE (ファジー制御、連続自動表面水測定装置付き)
計量機	製作会社 日工 株式会社 制作方法 全自動電子制御 計量方法 材料別、ロードセル重量方式

種別	台数	最大秤量	最小秤量
セメント	1	1,500kg	1kg
水	1	500kg	0.2kg
細骨材	1	3,000kg	2kg
粗骨材	2	3,000kg	2kg
混和剤	1	200kg	0.1kg
混和剤	1	30kg	0.02kg
混和剤	1	20kg	0.02kg

セメント上部貯蔵ビン (継続自動補給方式)	8.0m ³	2
	7.0m ³	2
骨材上部貯蔵ビン	35.0m ³ 細骨材	1
	21.0m ³ 細骨材	1
	18.0m ³ 粗骨材	2
	14.0m ³ 粗骨材	2

日本産業規格 適合性認証書・適合性認証書附属書

JIS A 5308 レディーミクストコンクリート

